

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年8月9日
【四半期会計期間】	第18期第3四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
【会社名】	株式会社フィックスターズ
【英訳名】	Fixstars Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 三木 聡
【本店の所在の場所】	東京都品川区大崎1丁目11番1号
【電話番号】	03-6420-0751
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 堀 美奈子
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区大崎1丁目11番1号
【電話番号】	03-6420-0751
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 堀 美奈子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

(注) 第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しています。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第17期 第3四半期連結 累計期間	第18期 第3四半期連結 累計期間	第17期
会計期間	自2017年10月1日 至2018年6月30日	自2018年10月1日 至2019年6月30日	自2017年10月1日 至2018年9月30日
売上高 (千円)	3,682,506	5,433,771	5,275,160
経常利益 (千円)	751,023	986,228	1,113,155
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	536,799	648,572	823,542
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	535,279	659,820	841,777
純資産額 (千円)	2,687,558	3,128,020	2,966,300
総資産額 (千円)	3,357,393	4,339,508	3,607,085
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	16.18	19.63	24.82
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	16.15	19.60	24.77
自己資本比率 (%)	78.7	70.6	81.4

回次	第17期 第3四半期連結 会計期間	第18期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自2018年4月1日 至2018年6月30日	自2019年4月1日 至2019年6月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	5.51	5.94

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産に弱さがみられるものの、雇用・所得環境は改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調で推移いたしました。また、海外経済につきましても、通商問題の動向が世界経済に与える影響や政策に関する不確実性、中国経済の先行き、金融資本市場の変動の影響などに留意する必要があるものの、全体としては緩やかに回復いたしました。

このような経営環境下、当社のソフトウェア開発技術を活用し未来社会の構築に貢献すべく「Speed up your Business」をスローガンに掲げ、お客様の高速処理のパートナー企業として、マルチコアやストレージ関連ソフトウェア開発・高速化サービスを事業の柱とし、併せて関連するミドルウェア及びハードウェアの販売を展開しております。

主力のソフトウェア・サービス事業では、ソフトウェア開発・高速化サービスにおいて、自動運転を対象としたアルゴリズム開発や高速化案件、半導体メーカー向けソフトウェア開発案件が長期安定して継続しております。加えて、AIによるソフトウェア開発マネジメントサービスや量子コンピュータに関連する研究開発を行い、SaaS等の新たな収益モデルの確立に取り組んでおります。

当社グループが開発したソフトウェア等が稼働するハードウェア基盤を開発、提供するハードウェア基盤事業では、画像処理プロセッサ搭載演算ボード等の量産納入を中心に、引き続き安定して受注しております。

海外事業では、米国子会社のFixstars Solutions, Inc.が日本のお客様の米国業務の一翼を担う一方、研究機関等を対象とした高速化案件の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、5,433,771千円（前年同期比47.6%増）、営業利益988,461千円（前年同期比34.0%増）、経常利益986,228千円（前年同期比31.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益648,572千円（前年同期比20.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

ソフトウェア・サービス

ヘルスケア、産業機器及び自動運転分野では、高精細・高解像度画像のリアルタイム処理等を実現するソリューションを提供しております。フラッシュストレージ分野では、半導体メーカー向けのファームウェア開発を中心にサービスを提供しております。金融及びHPC分野では、リスク管理等のシミュレーションやHFT（High Frequency Trading）の高速化ソリューションを中心にサービスを提供しております。また、新たな収益モデルの確立を目指し、AIによるソフトウェア開発マネジメントサービスや量子コンピュータに関連する研究開発に取り組んでおります。

この結果、売上高は、3,274,897千円（前年同期比14.8%増）、セグメント利益（営業利益）は、766,057千円（前年同期比10.5%増）となりました。

ハードウェア基盤

画像処理プロセッサ搭載演算ボード等の量産納入が長期継続中であり、加えて、画像処理に利用されるストレージ・サーバ等のスポット案件が大きく寄与いたしました。

この結果、売上高は、2,158,873千円（前年同期比160.5%増）、セグメント利益（営業利益）は、222,403千円（前年同期比407.0%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて732,422千円増加し、4,339,508千円となりました。これは、電子記録債権が759,972千円増加した一方で、現金及び預金が241,825千円減少したこと等が主な要因であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて570,701千円増加し、1,211,487千円となりました。これは、買掛金が360,896千円、短期借入金が200,000千円増加した一方で、賞与引当金が33,340千円、未払法人税等が28,311千円減少したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて161,720千円増加し、3,128,020千円となりました。これは、利益剰余金が416,226千円増加した一方で、自己株式が265,400千円増加したこと等が主な要因であります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における、当社グループ全体の研究開発費の総額は、125,314千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在 発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	33,590,000	33,610,000	東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	33,590,000	33,610,000	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、2019年8月1日から本報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日	-	33,590,000	-	551,768	-	457,768

(注)2019年7月1日から2019年7月31日までの間に、新株予約権の行使により発行済株式総数が20,000株、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,200千円増加しております。

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 582,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 32,998,500	329,985	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 8,800	-	-
発行済株式総数	33,590,000	-	-
総株主の議決権	-	329,985	-

(注)「単元未満株式」欄には、自己株式が10株含まれております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社フィックスターズ	東京都品川区大崎 1丁目11番1号	582,700	-	582,700	1.73
計	-	582,700	-	582,700	1.73

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2018年10月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,676,189	1,434,364
売掛金	1,149,990	1,115,449
電子記録債権	374,038	1,134,010
商品及び製品	224	17,696
仕掛品	30,832	44,700
その他	19,818	35,074
流動資産合計	3,251,094	3,781,296
固定資産		
有形固定資産	69,541	65,997
無形固定資産		
その他	15,854	10,092
無形固定資産合計	15,854	10,092
投資その他の資産		
投資有価証券	39,115	79,580
繰延税金資産	77,340	69,521
その他	154,140	333,020
投資その他の資産合計	270,595	482,121
固定資産合計	355,991	558,211
資産合計	3,607,085	4,339,508
負債の部		
流動負債		
買掛金	158,908	519,804
短期借入金	-	200,000
未払法人税等	182,184	153,873
賞与引当金	68,685	35,345
その他	231,007	302,465
流動負債合計	640,785	1,211,487
負債合計	640,785	1,211,487
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,868	551,768
資本剰余金	454,125	455,025
利益剰余金	2,203,257	2,619,484
自己株式	287,056	552,456
株主資本合計	2,921,195	3,073,821
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,837	14,221
為替換算調整勘定	6,552	22,532
その他の包括利益累計額合計	14,284	8,311
非支配株主持分	30,819	62,511
純資産合計	2,966,300	3,128,020
負債純資産合計	3,607,085	4,339,508

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
売上高	3,682,506	5,433,771
売上原価	2,202,533	3,552,250
売上総利益	1,479,973	1,881,521
販売費及び一般管理費	742,541	893,059
営業利益	737,431	988,461
営業外収益		
受取配当金	1,009	1,113
未払配当金除斥益	426	606
物品売却益	13,207	-
その他	720	296
営業外収益合計	15,363	2,016
営業外費用		
支払利息	1,651	3,590
為替差損	73	-
その他	47	659
営業外費用合計	1,771	4,249
経常利益	751,023	986,228
税金等調整前四半期純利益	751,023	986,228
法人税、住民税及び事業税	196,920	294,110
法人税等調整額	15,967	9,699
法人税等合計	212,887	303,810
四半期純利益	538,136	682,417
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,337	33,845
親会社株主に帰属する四半期純利益	536,799	648,572

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	538,136	682,417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	519	6,616
為替換算調整勘定	3,375	15,980
その他の包括利益合計	2,856	22,596
四半期包括利益	535,279	659,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	533,942	625,975
非支配株主に係る四半期包括利益	1,337	33,845

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

株式会社Fixstars Cloud Solutionsは第2四半期連結会計期間において、株式会社アイ・イー・テックは当第3四半期連結会計期間においてそれぞれ清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	24,904千円	38,641千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年12月14日 定時株主総会	普通株式	165,800	25	2017年9月30日	2017年12月15日	利益剰余金

(注) 2018年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり配当額」につきましては、当該株式分割前の金額を記載しております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年12月13日 定時株主総会	普通株式	232,346	7	2018年9月30日	2018年12月14日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2018年11月14日開催の取締役会決議に基づき自己株式200,000株を取得しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が265,400千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が552,456千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	2,853,727	828,779	3,682,506
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	2,853,727	828,779	3,682,506
セグメント利益	693,566	43,865	737,431

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	3,274,897	2,158,873	5,433,771
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	3,274,897	2,158,873	5,433,771
セグメント利益	766,057	222,403	988,461

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	16円18銭	19円63銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	536,799	648,572
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	536,799	648,572
普通株式の期中平均株式数(株)	33,174,453	33,044,981
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	16円15銭	19円60銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	70,838	43,284
(うち新株予約権(株))	(70,838)	(43,284)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結 会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2019年8月2日開催の取締役会において子会社の設立を決議し、2019年8月8日に下記のとおり設立いたしました。

設立の目的

当社は、従来より、当社の高速化技術を活かしたSaaSサービスの立ち上げを目指し、積極的な研究開発活動及び事業化投資を行っております。

このたび、AIによるソフトウェア開発マネジメントサービスであるSleek事業の更なる事業化の推進を目指し、新たに子会社を設立することといたしました。

子会社の概要

名称	株式会社スリーク
事業内容	AIによるソフトウェア開発マネジメントサービスの提供
資本金	200百万円
設立年月日	2019年8月8日
出資比率	当社100%

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

株式会社フィックスターズ
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 秋山 茂盛 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 橋本 裕昭 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フィックスターズの2018年10月1日から2019年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2018年10月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フィックスターズ及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。